

原発性肺癌に対する腫瘍の局在性と術後予後の相関を調査する後ろ向き観察研究

1. はじめに

神戸大学医学部附属病院呼吸器外科(および兵庫県立がんセンター)では、2000 年 1 月 1 日~2022 年 12 月 31 日のあいだに原発性肺癌に対し肺葉切除術・肺区域切除術・肺全摘術を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

2. 研究概要および利用目的

神戸大学医学部附属病院呼吸器外科では、原発性肺癌の患者さんに手術を行なってまいりましたが、根治を目指しているにも関わらず、再発する場合があります。これまでに、再発をきたしやすい原因を色々調べられてきた中で、肺の中枢にできた肺癌は再発しやすいのではないかと考えられています。しかしながら、手術でとった肺の標本から腫瘍の発生部位を正確に評価し、本当に発生部位が再発のしやすさと関連があるのか調べられた報告はありません。中枢型肺癌が再発しやすい傾向があることが明らかになれば、今後、肺癌手術を勧めていく対象患者さんの特定、さらに術後の経過観察において大変有用です。そこで 2000 年 1 月 1 日~2022 年 12 月 31 日のあいだに当院で原発性肺癌に対し肺葉切除術・肺区域切除術・肺全摘術を受けた患者さんのデータをカルテから収集し、発生部位ごとの予後を比較することで、中枢にできた肺癌が術後再発しやすいか探索する研究を実施することといたしました。

3. 研究期間

この研究は、研究機関の長による研究実施許可日から 2025 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 研究に用いる情報あるいは試料の項目

研究期間中に下記情報を利用して研究を行う。

- 1) 患者基本情報: 年齢、性別、診断名、手術日、身長、体重、Body mass index (BMI)、術前呼吸機能(肺活量、1 秒量、1 秒率)、併存疾患、喫煙歴、喫煙指数、臨床病期 (T 分類、N 分類含む)、腫瘍径、腫瘍部位
- 2) 術中所見: 手術時間、出血量、術式
- 3) 術後経過; 予後 術後補助療法
- 4) 術後病理結果: 組織型、病理病期(T 分類、N 分類)、悪性度(脈管浸潤因子(Ly 因子)・血管浸潤因子(v 因子)を含む各種病理学的因子、病理学的腫瘍発生部位

既存情報(あるいは既存試料・情報)の利用(又は提供)を開始する予定日

2024 年 4 月 1 日から行う予定です。

5. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

代表研究機関

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科 (研究代表者:田中 雄悟、機関長の氏名:眞庭 謙昌)

共同研究機関

兵庫県立がんセンター 北村 嘉隆 機関長の氏名:富永 正寛

6. 外部への情報あるいは試料の提供・取得の方法

カルテより 4 項に記載した項目を、メールにて代表研究機関である神戸大学医学部附属病院へ提供します。

7. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科の鍵のかかる保管庫に保管します。

8. 情報あるいは試料の保存・管理責任者

この研究の保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科 研究事務局:田根 慎也

9. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータ若しくは残余検体をご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・カルテからのデータ収集若しくは残余検体の再利用のみであるため、特にありません。

10. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました情報は、研究期間中は神戸大学大学院医学研究科呼吸器外科学分野において厳重に保管いたします。ご提供いただいた情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き神戸大学大学院医学研究科呼吸器外科学分野で厳重に保管させていただきます。(保管期間は最長で 10 年間です。)

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄(データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理)いたします。

11. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

12. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めに希望されたとき、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、取り止めに希望され

たときにすでにデータがコード化されていたり、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合もあります。

13. 研究に関する利益相反について

本研究の研究者はこの研究に関連して開示すべき利益相反(COI ※)関係になる企業などはございません。

※研究における、利益相反(COI(シーオーアイ): Conflict of Interest)とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床試験の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために利害関係を管理することが定められています。

14. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

電話での受付可能時間と曜日: 月曜日～金曜日(午前 9 時～午後 5 時)

神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科 担当者: 田根 慎也

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2

078-382-5750

E-mail: stane@med.kobe-u.ac.jp

受付時間: 10:00 - 17:00 (土日祝日はのぞく)